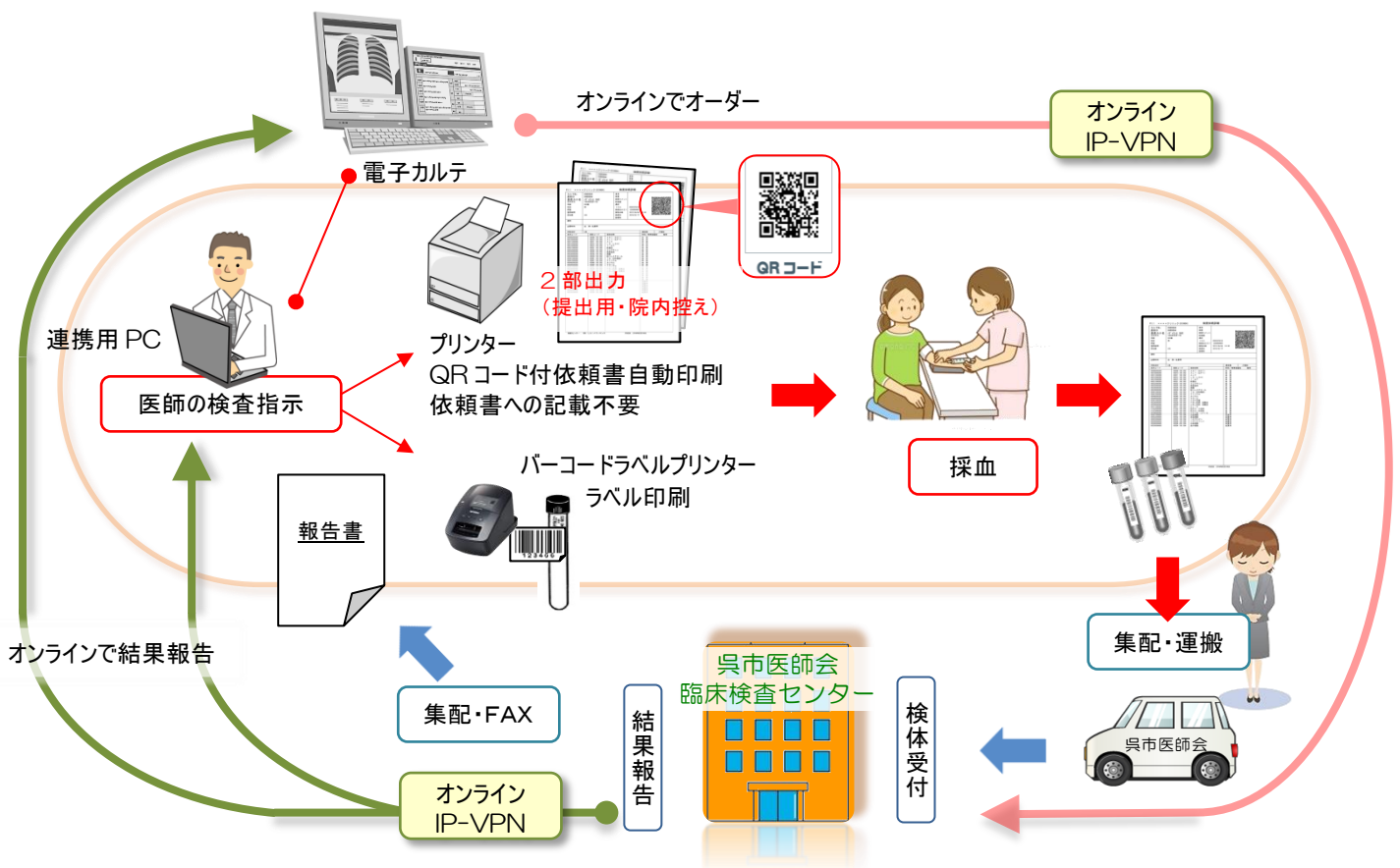


呉市医師会臨床検査センター検査支援システム(KMA-TEST)・オンラインシステム概要

- 従来の手書き・マークシート依頼書による運用を廃止するわけではありませんので、ご安心ください。
- 検査支援システムとオンラインシステムは、必ずしもセットではありません。医療機関のご希望にあわせた導入・運用が可能です。ぜひ、この機会にご検討ください。
- 電子カルテを使用されていない医療機関でも検査支援システムの導入は可能です。電子カルテより先に導入されることをお奨めします。
- 電子カルテを使用されていない医療機関でも、通常のインターネット環境があればオンラインによる検査結果報告は可能です。
- 厚生労働省のガイドラインに示されているIPSec-VPN+IKEを使用することで、高いセキュリティを確保しています。



Kure Medical Association Clinical Laboratory Test Center

IP Sec-VPN(Security Architecture for Internet Protocol-Virtual Private Network)
IKE(Internet Key Exchange)

厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン第5版」(平成29年5月)

6.11 外部と個人情報を含む医療情報を交換する場合の安全管理

B-2. 選択すべきネットワークのセキュリティの考え方 II. オープンなネットワークで接続されている場合

SSL-VPNを用いる場合、5階層目の「セッション層」といわれる部分で経路の暗号化手続きがなされるため、正しく経路が暗号化されれば問題ないが、経路を暗号化する過程で盗聴され、適切でない経路を構築されるリスクが内在する。また、偽サーバへの対策が不十分なものが多いため、医療情報システムでは原則として使用するべきではない。

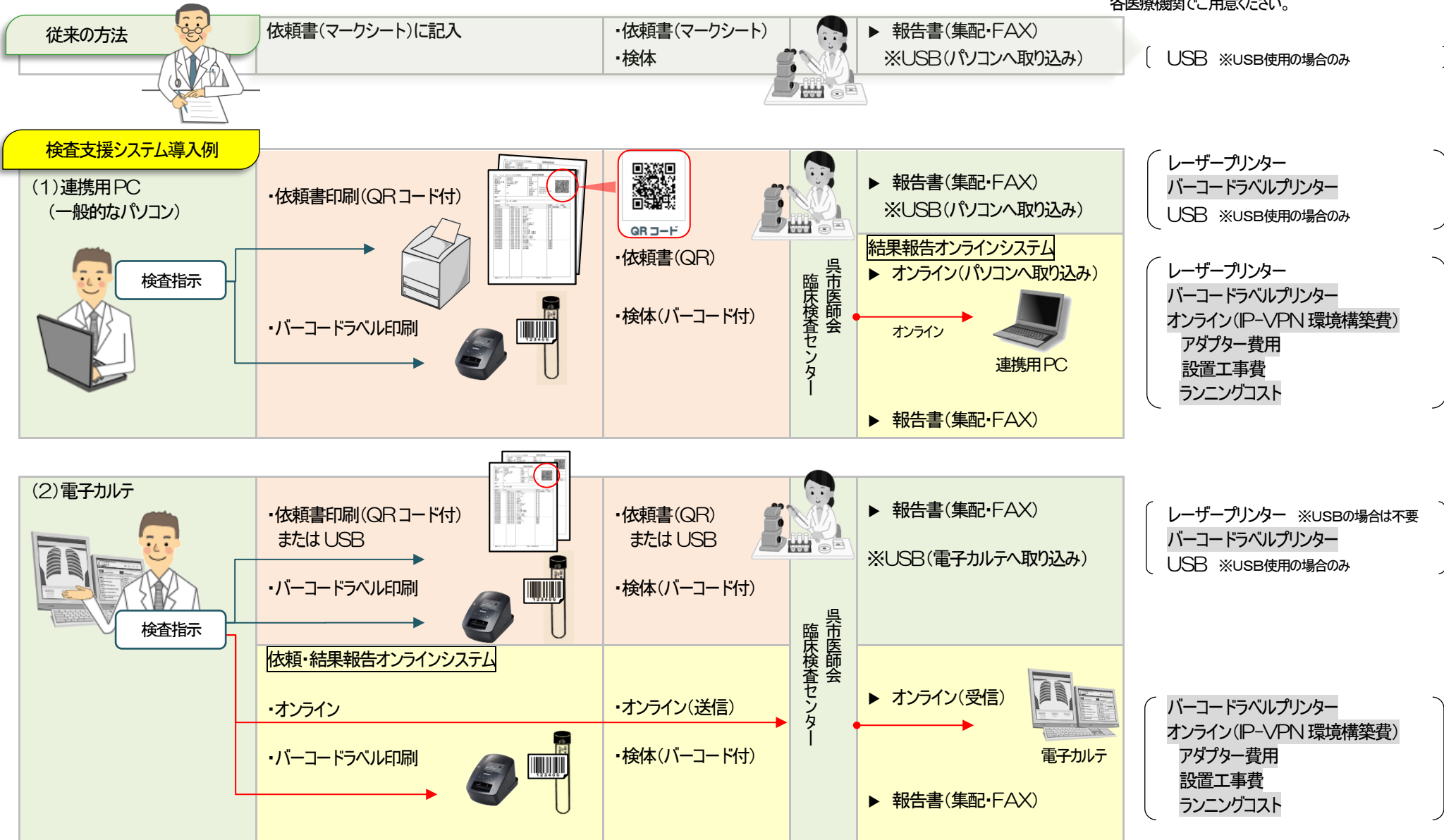
一方、IPsecを用いる場合は、2階層目若しくは3階層目の「ネットワーク層」といわれる部分より下位の層で経路の暗号化手続きがなされるため、SSL-VPNよりは危険度が低いが、経路を暗号化するための暗号鍵の取り交わしに IKE(Internet Key Exchange)といわれる標準的手順を組み合わせる等して、確実にその安全性を確保する必要がある。

— 検査支援システム(KMA-TEST)・オンラインシステム導入例 —



必要なもの

※パソコン・レーザープリンター・USB・インターネット環境は各医療機関でご用意ください。



※電子カルテ改修費用が別途必要な場合があります。